

## 平成 18 年度 NACSIS-CAT/ILL 業務分析表の見方

## ●H18 年度 NACSIS-CAT/ILL 業務分析表

NACSIS-CAT/ILL のさまざまな業務について、平成 18 年度の貴機関の状況を分析した結果です。貴機関内全参加組織 FA（図書館・室）についてまとめて報告しています。

各項目の内容は次の通りです。

## CAT :

## 図書書誌 :

- ① 新規作成＝平成 18 年度中に新たに作成されたレコード件数
- ② 重複作成＝平成 18 年度中に NII で処理した重複書誌レコードのうち
  - (1) H15 年度以前＝書誌作成日(CRTDT)が平成 15 年度までのレコード件数
  - (2) H16 年度以後＝書誌作成日(CRTDT)が平成 16～18 年度のレコード件数
- ③ 重複率＝算出式： $(2)(2) / (1) \times 100$
- ④ 削除レ作成（削除予定レコード作成件数）  
＝平成 18 年度中に「削除予定レコード」として NII で削除処理したレコード件数
- ⑤ 削除レ作成合計（削除レコード作成合計）＝算出式： $(2) ((1)+(2)) + (4)$

## 図書所蔵 :

- ⑥ 所蔵件数＝平成 18 年度末時点での所蔵レコード件数
- ⑦ 新規登録＝平成 18 年度中に登録された所蔵レコード件数
- ⑧ 追加率＝算出式： $(7) / (6) \times 100$
- ⑨ 更新総数＝平成 18 年度中に更新（修正＋新規登録）されたレコード件数
- ⑩ 更新率＝算出式： $(9) / (6) \times 100$

## 雑誌所蔵 :

- ① 所蔵件数＝平成 18 年度末時点での所蔵レコード件数
- ② 所蔵件数（＋分）＝①所蔵件数 のうち、受入継続中（cont：＋のもの）のレコード件数
- ③ 仮登録件数（＊分）＝①所蔵件数のうち、仮登録（HLYR, HYV いずれかが＊のもの）のレコード件数
- ④ 未更新の件数＝②所蔵件数（＋分）と③仮登録件数（＊分）のうち、次の条件を満たすレコード件数
  - 所蔵レコードの更新日付（RNWDT）が平成 17 年 3 月以前のもの

- ②に関し、当該雑誌が廃刊（PSTAT=d）でないもの

- ⑤ 未更新率＝算出式：{④／②} ×100  
 継続所蔵件数合計に対する未更新件数の割合（％）

ILL 業務：

- ① 複写依頼件数＝平成 18 年度の複写依頼総件数  
 ② 複写受付全件＝平成 18 年度の複写受付総件数  
 ③ 複写謝絶件数＝平成 18 年度の複写謝絶総件数  
 ④ 複写謝絶率＝算出式：③／②×100  
 ⑤ 貸借依頼件数＝平成 18 年度の貸借依頼総件数  
 ⑥ 貸借受付件数＝平成 18 年度の貸借受付総件数  
 ⑦ 貸借謝絶件数＝平成 18 年度の貸借謝絶総件数  
 ⑧ 貸借謝絶率＝算出式：⑦／⑥×100  
 ⑨ 総謝絶率＝算出式：(③＋⑦) / (②＋⑥) ×100  
 ⑩ 複写受付所要日数  
 ＝処理日数（発送日（SDATE）－ 受付日（ADATE）の合計  
 ⑪ 複写平均所要日数＝算出式：⑩ / (②－③)  
 ⑫ 貸借受付所要日数  
 ＝処理日数（発送日（SDATE）－ 受付日（ADATE）の合計  
 ⑬ 貸借平均所要日数＝算出式：⑫ / (⑥－⑦)  
 ⑭ ILL 平均所要日数＝算出式：(⑩＋⑫) / { (②－③) + (⑥－⑦) }  
 ⑮ ステータス切替回数＝平成 18 年度のステータス切替回数  
 ⑯ サービス受付稼動時間率＝平成 18 年度のステータスが複写／貸借それぞれで有効であった時間の割合  
 ⑰ サービス受付稼動時間率（NACSIS-ILL システム業務時間）＝⑯の NACSIS-ILL システムが稼動していた時間帯での割合  
 ⑱ GIF 対応実績＝平成 18 年度の GIF（日米，日韓）対応実績  
 ⑲ レコード状態別件数＝平成 18 年度の ILL レコード件数を受付館／依頼館，複写／貸借それぞれで状態別にカウント

なお、参考までに以下についても、記載しています。

- 全国平均 ……参加機関全体の平均
- 機関種別平均 ……機関種別の平均
- 規模別平均 ……大学の規模別\*での平均

\*「大学図書館実態結果調査結果報告」の大学規模別リストから4段階に分類

平均は機関単位で算出していますので、比較する場合は、自機関の合計と比較してください。

### ●H18 年度 NACSIS-CAT/ILL サービス品質グラフ

NACSIS-CAT/ILL 業務分析表をもとに、「図書書誌重複指数」「図書所蔵追加指数」「雑誌所蔵更新指数」「ILL 複写謝絶指数」「ILL 貸借謝絶指数」「ILL 平均所要日数」の 6 項目について、それぞれの標準偏差と大学平均、基準となる平均（大学平均等）から平均を 3 とし、平均からのばらつきの度合い（上位 5～下位 1）を表わしたものです。なお、0（ゼロ）は「対象データなし」との意味です。

全国・機関種別・規模別の 3 通りについて算出しています。（大学以外の機関については、規模別はありません。）

### ●H18 年度図書書誌レコード重複統合処理リスト

平成 18 年度に NII にて処理された「重複書誌レコード」の全リストです。各機関の参加組織 FA（図書館・室）について、それぞれまとめています。対象レコードが 0 件の場合は、リストが空欄になっています。

### ●H18 年度継続所蔵・未更新所蔵リスト

所蔵レコード中の継続所蔵（cont：+のもの）及び仮登録所蔵（HLV, HLYR いずれかが\*のもの）の全リストです。未更新条件の対象レコードには、未更新フラグ「※」を記載しています。

各機関の参加組織 FA（図書館・室）について、それぞれまとめています。対象レコードが 0 件の場合は、リストが空欄になっています。

以上